

## NPO評価について

### 1 なぜ、NPO評価が必要なのか

#### (1) NPOの活動内容の改善

個々のNPO活動が継続的、安定的に発展するためには、限られた人材と資金を効率的に使ってより多くの成果を得られるよう、事業や組織の改善を図っていく必要がある。その改善のために、自分たちの事業や組織を客観的にチェックすることが有効である。

#### (2) 説明責任を果たし、信頼性を醸成

活動を広げるために会員を増やしたり、寄付を募ったり、行政や財団から委託・助成などの事業資金を得るなど、積極的に信頼性をアピールするため評価を活用して説明責任を果たす。

#### (3) NPOと行政の協働事業の情報公開

NPOと行政が協働して行う事業については、社会に対する透明性を確保するとともに、協働事業の有用性や成果を検証し、市民に説明責任を果たす必要がある。

### 2 NPOが評価を活用する目的と意義 (NPOの評価手法に関する調査報告書 H13内閣府委託調査より抜粋)

確認：組織体制や活動・事業がNPO法人の設立目的や理念を達成する上で有効に機能しているかどうかを確認できる。

改善：実施する事業や組織の改善、さらなる発展を促すことができる。

発信：ある根拠をもって会員や支援者、社会一般へのアカウントビリティ(説明責任)を行うことができ、また、理解を促すことができる。

伝達：コミュニケーションツールとして活用することができる。

発見：意図しなかった成果の確認や気がつかなかった点の発見等ができる。

### 3 評価方法

(1) 実施者別：内部評価、外部評価(受益者評価・第三者評価)

(2) 対象別：事業評価、組織評価

(3) 過程別：結果評価、プロセス評価

(4) 時期別：事前評価、期中評価、事後評価

## 4 行政方針

### (1) NPOの自己評価のすすめ

NPOの活動内容の改善、信頼性の醸成

大阪府「NPO活動自己点検シート」参考

専門委員会、NPO懇話会、意見交換会等を通じて、チェックシートを作成し、NPO情報ステーション上で公開して自己点検ができるシステムをつくる。

希望するNPOはNPO情報ステーションに掲載し、県民、企業、行政職員等が閲覧できるようにする。

### (2) 協働事業の評価の制度化

NPOと行政の協働事業の情報公開

NPOと県との協働事業について、チェックシートを作成し、双方が評価した結果をNPO情報ステーションに掲載し、県民、企業、行政職員等が閲覧できるようにする。

協働事業の第三者評価について検討する。